

Senriyama

千里山建築会会報

第 27 号 2017 年 3 月 18 日発行 v.2

千里山建築会

〒 564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学環境都市工学部建築学科内

TEL : 06(6368)1121 (代表)

FAX : 06(6368)0093 (建築学科共通)

Contents	副会長挨拶 (渥美 充広)	1	卒業生の活躍	
	建築学科の近況		建築屋からうどん屋へ (行司 正芳)	4
	教室だより (榎井 健)	2	千里山キャンパス NOW (市原 淳)	5
	着任の御挨拶 (池永 昌容)	3	事務局から	
	永井規男先生の受章 (河井 康人)	3	会計報告・事業報告	6
	建築学科 HP のリニューアル	3	お知らせ	6
	第4学舎1号館増築棟竣工	3	編集後記	6

副会長挨拶

渥美 充広 (12 期)



渥美充広 副会長

千里山建築会の皆様こんにちは。今期から副会長に就任させていただいております12期の渥美です。今期からといたしても1期4年の内、もう3年が経過してしまいましたが、どうぞよろしくお願い致します。

私は卒業後大阪市内の設計事務所に就職し、10年後独立。地元の尼崎にて設計事務所を営みだして26年目を迎えることになりました。

独立後若輩の私は、数年間日々手探りの状態でいろいろな方々と仕事を進めておりました。そんな中、一緒に仕事をさせていただいていた方と話をしていた、(建築学科卒の方だけではないのですが)互いが関大卒であることがわかると「そうか、関大の後輩か!」と云っていただき、ものすごく助けていただいたり、引き立てていただき、また仕事外でも飲み連れて行って下さったりと、いろいろな面でも可愛がってもらえました。その方々とは今もずっとお付き合いいただけております。このような母校や建築学科との情熱ある繋がりに対し大変うれしく思い、感謝する気持ちとなっており、今度は私から後輩や卒

業生・在学生の皆様に恩返しをしたい。いや、しなければならないと思っているところです。

そこで、卒業直後はあまり学校の方に出向くことはほとんどなかった私ですが、宮本昌彦 前会長のお誘いにより千里山建築会に参加させて頂き、ここを通じて少しでも恩返しができるばなあ、と考えております。

さて、母校 関西大学は昨年11月4日に創立130周年を迎え、我が建築学科は本年4月に50周年を迎えます。そして4月29日(昭和の日)に建築学科50周年記念式典が開催されます。卒業されてからあまり母校建築学科に足を運ばれておられなかった方々も、この50周年(半世紀)の記念の節目を機に、母校に足を運んでいただき旧友と語り、私たちの跡を繋いでくれる若き後輩たちを見てやってください。

そして今期 北野幹夫会長の下、千里山建築会 ホームページのリニューアルを行っております。ワードプレスを利用することにより、建築学科を卒業した同窓生、現役学生の誰でもが、メールやライン感覚で写真や動画を投稿でき、今までより早くかつ新しい情報を共有でき、身近なものになると考えておますので、是非一度のぞいてみてください。そして様々な企画や行事をご案内いたしますので、気軽に参加していただき親睦を図ってゆきたいと考えております。よろしくお願い致します。

建築学科の近況

教室だより 建築学科 教育主任 榎井 健

平成28年度の建築学科教育主任を担当いたしました。まがりなりにも学科を代表する立場として、責任の重い役目でしたが、建築学科の先生方のご協力をいただきながら何とか勤め上げることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

わが建築学科の今年度の状況をご報告いたします。入学者につきましては、建築学科は、引き続き受験生からの人気が高く、関西大学理工系学部の中での入学難易度は最も高い状況を誇っております。昨年4月には114名の新入生を迎え入れました。また、大学院には22名が入学いたしました。昨年3月には、学部卒業生100名、大学院修士29名、博士1名を送り出しました。これで学部卒業生総数は5,376名となりました。本年3月にはこれに100数名が加わりました。

人事に関しましては、昨年4月に岡絵理子先生、松田敏先生、木下光先生がそれぞれ准教授から教授へと昇任されました。昨年3月、鈴木三四郎先生が定年によりご退職されました。引き続き非常勤講師としてお勤めいただいております。昨年4月には構造系教員の新任として池永昌容先生が准教授として東北大学から本学へ着任されました。昨年10月には大学、学部ともに新体制となり、新学長として文学部の芝井敬司先生が、新環境都市工学部長としてエネルギー・環境工学科の山本秀樹先生が選出・着任されました。前任の河井康人先生は昨年9月をもって任期満了により環境都市工学部長をご退任されました。長きにわたる学部運営の労に感謝申し上げます。

慶事がございました。名誉教授永井規男先生には、平成28年春の叙勲におきまして、瑞宝中綬章を受章されました。先生の永年にわたる教育研究への功労としての受章であり、心よりお慶び申し上げます。

建築学科が入っている第4学舎の状況をお知らせいた

します。2号館の中庭部分に4号館が新築されました。2号館研究棟と教室棟のつながりはコの字の形状で、これまでアクセスが不便だったのですが、4号館はコの字の開いた部分を繋ぐように新築されました。これによって、教室が増設されるとともに、研究棟へのアクセスが非常に良くなりました。また、1号館の耐震改修に伴って、増設棟が新築され、既存の1号館とは最新の制震システムである二棟連結制震ダンパーで結ばれました。また、教室棟には5階までのエレベータが増設され、これにより第2製図室までエレベータで行けるようになりました。

千里山キャンパスでは、阪急関大前駅からの新アクセスが完成しました。これで、関大正門前の大混雑が解消されることになりました。また、総合図書館と悠久の庭の間に、関西大学の先端研究開発拠点としてイノベーション創生センターが完成しました。その1階には、交流の場としてスターバックスコーヒーがオープンしました。関大キャンパスにスタバなんて、びっくりではありますが、是非一度お越しになってお茶でもされてはいかがでしょうか。

建築学科は創立50周年をこの4月に迎えます。これを記念して、50周年記念行事として、記念誌を発行します。また、建築学科ホームページのリニューアルを行いました。さらに、関大前新アクセスを題材とした記念コンペを実施いたしました。来る4月29日には100周年記念会館にて50周年記念式典を挙行いたします。優秀案の表彰を式典時に行う予定です。皆様の多数のご参加をお願いいたします。

以上のように、わが関西大学および建築学科は、物的にも人的にも着実に歩をすすめております。建築学科ならびに千里山建築会の発展に向け、皆様におかれましても、今後ますますのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



4号館 内部



1号館増築棟 外観



池永昌容 准教授

2016年4月に関西大学に准教授として着任いたしました池永昌容（いけながまさひろ）と申します。出身校は京都大学で、建築学専攻博士後期課程を2009年3月に卒業した後、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の助教を2016年3月まで7年間勤めておりました。京都大学では、建築構造の中でも鉄骨構造の柱脚に関する研究をし

ており、その内容で学位論文を書かせていただきました。その後、東北大学では教育面においては3回生向け科目の建築鉄骨構造と1回生向け科目の自然科学総合実験を担当し、教育の大切さと難しさを勉強させていただきました。研究面では、京都大学のころとは異なる分野である免震構造・制振構造の研究に従事し、理論研究と併せて大型振動台を用いた動の実験も実施し、理論研究と実験研究の両方に取り組んできました。

この度、関西大学で勤めさせていただくことになりましたが、教育者・研究者としてのこれまで学んできたこと、また今後関西大学で学んでいくことを活かし、関西大学の理念である「学の実化」に一步でも近づくことができるような教育・研究を展開することを目標に頑張らせていただく所存です。またこれらを通して微力ではありますが、関西大学建築学科の発展に貢献できればと存じますので、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

関西大学名誉教授 永井規男先生 瑞宝中綬章を受章

河井 康人(3期)

元工学部建築学科教授、関西大学名誉教授 永井規男先生は平成28年春の叙勲において、瑞宝中綬章を受章されました。なお、東京にて開かれた伝達式をご欠席されたため、関西大学会館来賓室で楠見晴重学長（当時）より勲章をお受け取りになられました。

なお、当日は当時学部長をさせて頂いていた河井と永井名誉教授の後任として赴任されました藤田勝也教授（日本建築史）も同席させて頂きました。

http://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/28haru/meibo_jokun.html



左から藤田教授、楠見前学長、永井名誉教授、河井前学部長

建築学科ホームページのリニューアル

建築学科創設50周年記念事業の一環として、建築学科のホームページのリニューアルを行い、公開されています。内容の充実はこれからですが、創設50周年記念事業やお知らせ等も発信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.arch.kansai-u.ac.jp/RENEWAL/index.html>



第4学舎1号館増築棟 竣工

教室だよりもある通り、1号館が大きく変わりました。既存の1号館（約7,000㎡）を耐震改修し、これに約1,500㎡の増築棟を連結して制振構造としています。既存1号館は、耐震改修のみならず、リノベーションされて、研究室や事務室も一新され、2017年3月10日に竣工しました。増築棟は夜間景観も一見の価値あります。



卒業生の活躍

建築屋からうどん屋へ 行司(潮) 正芳 浅野ゼミ(4期)

一年半ほど、毎日うどんを打っていた。

我ながら良く続いたものだ。昼休みに小麦粉を練って熟成し、夜伸ばして切る、そして朝湯がいて試食記録を取る。365日の内、4-5日ほど休んだのだろうか！

家族は毎日うどんを食べさせられて、また「変な趣味が」と食傷気味。

美味しいうどんを作ろう。釜揚げうどんが特に好み。葛粉やヨーグルトなど色々なものを入れて試作。でも最後は、塩と水と小麦粉だけの微妙な配合のうどんが一番と思う。関西は昔から柔らかいうどん、そして日本人好みはモチモチ感、その食感をどう出そう。行き着いたのは圧力釜、120度ほどの温度のもとで、外側と芯の水分量の差によってモチモチ感が強調される。



写真1 店内風景・お料理

本当に家では料理をしてこなかった、素人料理の怖いもの知らずが、資料からの知識偏重で走りだす。メニューもトマト摺りおろし、鶏南蛮、牛ゴボウ、海苔ゴマそばろ他にオリジナル山椒油などつけて、とにかく他店で見ないので自分自身が美味しいと思うものだけを提供してどの程度の評価を頂くか見てみたい。この食材とこれと組み合わせたらと、寝ても覚めても足したり引いたり進化進行形です。本当に我が住宅設計と何かよく似てる。

こんな場違いなうどんの話の建築の会報に、とお叱りを受けるかも知れないが・・・

以前TVで西川きよしさんに「何で建築からうどん屋に」と聞かれたように、関大時代からしたかったのはうどん屋。60歳半ば、あの時やっていればと言う心残りの気持ちを



写真2 作品造り

持ちたくなかったから。

現在、店は娘(関大総合情報学部卒)夫婦にまかせている。私は平日に建築の仕事して、土日曜日は店でうどんを作っている。

「休み無しで疲れない？」と言われるが、好きなことしているから益々元気になるわが身。

卒業後ゼネコンに6年ほどいて、名字も変わって小さな工務店へ。小さな年商で小学校など公共工事が主の淡路島の会社だった。一物件で会社の存続が掛かるような博打的な受注競争がひやひやものの為、小さな金額の商売に憧れをもっていた。そして阪神震災復興後の箱物行政の終焉で住宅の設計施工がメインに。

施工ばかりしていると、住宅設計ではいかに技術力とデザイン力が無いのかを痛感した。そこでOMソーラーに加盟して、講習勉強会や全国の加盟店の物件を100件ほど見せて頂いたのだろうか、パッシブ的温熱環境やデザインなどに驚き・感銘しノウハウを色々教えていただいて、やっと並みの工務店になったと思う。

工務店の設計は施工も伴うからお金の調整もしやすく、住まい手と大工さんたちと共に完成間際までこだわりの建物が出来る。こんな住宅設計施工って面白くて楽しくて、お金を頂いて自分の思いを創れる・・・こんな住宅造りが最終の人生の歩みとと思っていたのだが、またまた一寸別の方向へ。ほんとうに新物食いと呆れられる。

そして今、熱中しているのは小さな大師堂の建物。施主の依頼は伝統工法でない建物をと・・・

寺院建築は檀家の目を意識するから変わった建物は一寸怖い感じがする。お堂で検索しても伝統工法ばかり。

さあ！ どうしよう・・・

変わったことを考えても進まないの、今までの仕事で良

かったデザイン・ディテールをもとに考える。出来上がったイメージは今までの集大成みたいな仕事です。とにかく悔いの無い人生をと全力疾走しています。



写真3 大師堂

うどん食べに来て下さいね・・・お願い

「かま釜うどん」

神戸JR三宮駅東口から山側へ150mほど。河合塾の前の四つ角のビル1Fです。

関西大学は昨年創立 130 周年記念事業として、様々な記念事業がありました。それらを含めて、千里山キャンパスの近況を報告いたします。

1. 千里山キャンパス駅前新アクセス

2016 (平成 28) 年 8 月 31 日 (水) に開通した新アクセスは、日常の通学、入・卒業式、入学試験時の関大前通りの交通事故防止と混雑緩和を期待して整備されました。

阪急関大前駅北口を出ると、これまで通学していた道の右手 (歯医者さんの手前) に広場が整備されています。これがキャンパスの入口になります。

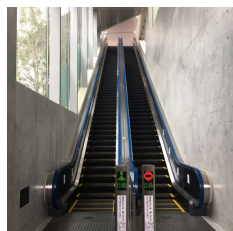


新アクセス全景 (関大前北口から見た様子)



今年の入試風景 (関大HPより) 屋根付の階段を上ります。周囲には様々な植物 (ざっと見たところ、ソメイヨシノ、蜂須賀桜、ハイノキ、イロハモミジ、ガクアジサイ、エゴノキなど) が配置されており、屋根の形状、階段の質感・デザインとランドスケープを意識した空間になっています。

階段・平場・階段・平場と進んでいきますと、右手に階段、左手にエスカレーターの分岐があります。それぞれ進むと、狭い土地の上層を階段、下層をエスカレーターに高度利用



しているのがわかります。登り切ったところは第3学舎 (社会学部)。新しく広場と大屋根が設置されています。かつては関西外大とも言われた社会学部 (失礼) ですが、今や立派に正面玄関ですね!

振り返って、2層構造になっている上



部の階段側の景色は絶景? です。みなさんも一度歩いてみてくださいね。

2. イノベーション創生センター

2016 (平成 28) 年 9 月 12 日 (月) に竣工しましたイノベーション創生センターは、関西大学創立 130 周年記念事業として総合図書館と悠久の

庭の間に建設されました。位置、規模、外観については、キャンパスデザイン会議の場で学長、理事長はじめ委員の議論に基づくものであります。併せて、千里山キャンパスの風致地区その他の法令について、吹田市とも綿密な協議を行い、手続きを進めました。



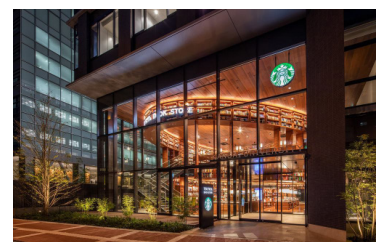
本センターは、理工学系の先端研究に加え、自然科学系・社会科学系の分野も配置し、インキュベーション機能、ベンチャー促進機能等も兼ね備えた産学官連携・共同研究拠点を指すものです。建物は鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地下 1 階地上 4 階、延床面積:

3,615.15㎡で地下 1 階及び 2 階から 4 階が実験・研究ゾーン、特に地下 1 階の床荷重 2 t /㎡の設定は関西の施設では希少です。1 階は全学に開かれたパブリックゾーンとして、プレゼンテーション機能を併設したブックカフェ (スターバックス + TSUTAYA)、2 階はベンチャーオフィスが入ります。



3. 梅田キャンパス (番外編)

2016 (平成 28) 年 9 月 28 日 (水) に竣工いたしましたこの建物は「KANDAI Me RISE」(カンダイ・ミライズ) と命名されました。1 階・2 階には「TSUTAYA BOOK STORE 梅田 MeRISE (スターバックス併設)」が入り、スタートアップ支援 (起業サポート) や様々なイベントが開催されております。16 時以降はアルコールも注文できるようです。ネットで「関西大学梅田キャンパス」と検索し、是非一度足をお運びくださいね。



会計報告

平成 27 年度 (2015/4/1 ~ 2016/3/31)

収入の部		支出の部	
繰越金	¥1,718,438	卒業記念写真代	¥70,600
SF 会費・寄付	¥15,000	SF 懇親会費	¥20,902
銀行利息	¥2	弔電	¥1,738
郵便局利子	¥258		
新規会員入会費	¥69,000		
寄付	¥500,000		
		小計	¥93,240
		繰越金	¥2,209,458
合計	¥2,302,698	合計	¥2,302,698

SF：スプリングフェスティバル
繰越金明細

郵便普通預金	¥2,158,215
りそな普通預金	¥11,452
現金	¥39,791
合計	¥2,209,458

事業報告

平成 27 年度 (2015/4/1 ~ 2016/3/31)

- 4月5日 第1回幹事会
スプリングフェスティバル懇親会開催
 - 7月18日 第2回幹事会開催
 - 11月7日 高槻キャンパス見学と
富田界隈の酒蔵・寺社散策
 - 12月16日 第3回幹事会開催
 - 3月18日 会報第26号発行
 - 3月19日 卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影
- なお、会報、名簿の各担当者は随時各委員会を開催



《お知らせ》

1. 関西大学博物館春季テーマ展“関西大学と村野藤吾”開催

4月1日(土)より、関西大学博物館で、春季テーマ展“関西大学と村野藤吾”が開催されます。本展では、平成28年度に京都工芸繊維大学の学生が制作した昭和44(1969)年頃の「関西大学千里山キャンパス」建築模型が展示されます。

本誌でもいろいろお知らせした通り、千里山キャンパスは、大きく変わっています。模型や建築図面、懐かしい写真等の展示の観覧とともに、新しい千里山キャンパスの散策もお楽しみください。

会期：2017年4月1日(土)～5月21日(日)
日曜・祝日休館

4/2、4/29、5/21は特別開館日

場所：関西大学博物館特別展示室

開館時間：10時～16時(日曜休館)

入館料：無料

2. 千里山建築会のホームページがリニューアルします

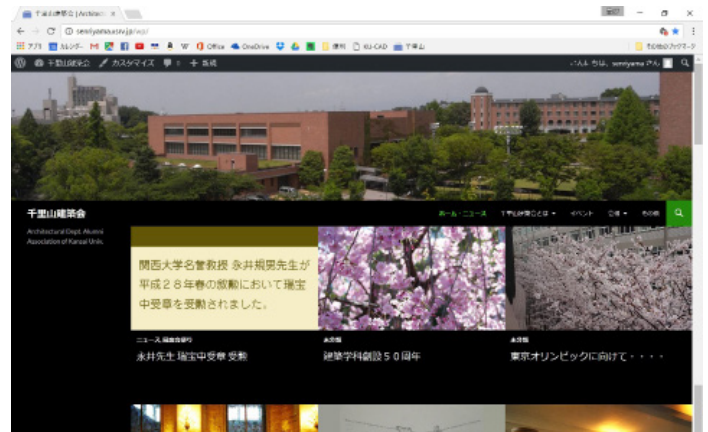
千里山建築会のホームページリニューアルに向けて、現在作業中です。一覧性のある写真タイル表示を中心にしたデザインでまとめる方針で、右の写真は完成間近のホームページの様子です。



千里山建築会の概要や会長挨拶などはメニューから見るができます。また、お知らせやフレッシュな話題は、写真でタイル表示し、クリックで内容を表示します。関連するカテゴリー別に抽出し、表示することもできます。カテゴリーに整理できていないキーワードはタグで表示し、タグ別に抽出することができますようにします。

現在のところ、ホームページの編集委員は幹事が兼ねておりますが、軌道に乗りましたら編集委員を募ろうと考えています。皆さん、ご参加ください。

(13期:宮本昌彦)



千里山建築会 (近日公開) HPトップ



《編集後記》

ようやく春の風が吹きだし、会報の編集も何とか終わることができました。ご執筆いただきました皆さま、ありがとうございました。関西大学では昨年10月に芝井敬司学長が就任し、新体制となりました。私事ですが、昨年の人事異動で高槻キャンパス配属となり、山の上で自然や動物たち(イノシシ、シカ、ウマ、サル、クマなど)と戯れております。4月29日(土:昭和の日)には建築学科50周年記念式典が100周年記念会館で開催されますので、みなさまふるってご参加ください。(市原 淳)